

日本海員組合、又對院請書提出意見

日本航主協會ニ於テハ現下、海軍界リ不況ニ際シ經費節減ノ一策トシテ建造後二十五年未滿ノ船舶ニ對スル定期検査省界方、建議書ヲ隨相國方ニ提出セシムルニ對シ迎信(貴)者ヨリ日本海員組合宛宛竟完ク徴サレシムル趣ヲ以テ精査ノ結果別紙及對陳情書ト作成シ回答ニ代フルト共ニ海軍次官、參謀本部宛等考送附シシムル趣右ニ件海員組合幹部英田國太郎ニ概要左ノ如キ意見ヲ漏セリ。

又對、収容ハ陳情書ニ詳細記載ノ通りニシテ留取上京ノ際、右局ニ對シ口頭ヲ以テモ又對意見ヲ述ハ聖キタルカ、航主協會ニ屬スル航主中、六最近外國ノ老朽船ヲ多數買入レ之ニ多額ノ保險ヲ附シ置テ且

前、採算ニ是ニシテ活働者、危難等ハ更ニ分否テアリニアラズ吾々ノ想像スル外ニ極ハ甚タレテニ至クテハ法規ニ抵觸セシル範圍ニ迄テ巧妙ナル障難泚没ヲ爲シ不才ノ保險科ヲ得テ一昨、融通ヲ助ケントスル方都合ナルモノスラアリ。我國ノ海軍界ハ今後堅牢ナル船体ト優秀ナル技術トヲ以テ國際競争ニ活躍セシムル秋ニ際シ斯ル建議ヲ爲スル航主ノ毎理解モ甚クシト謂ハサルハカラス、通信當局カ此、建議ヲ採用セサルコトハ推測ニ難カラサルモ希放性不ハ申向題ニアラサレハ我海員組合トシテ極力又對セサルヘカラスカ也

右及申(通)報也